

公益社団法人 東京生薬協会

平成31年度

(2019年4月1日~2020年3月31日)

事業計画書

平成31年3月19日

公益社団法人 東京生薬協会の平成 31 年度事業計画

公益社団法人東京生薬協会は、生薬、薬用植物等の普及振興に関する事業を行い、国民の健康と公衆衛生の向上に寄与する目的を達成するために、公益法人として下記事業を積極的に展開する。

さらに経営基盤の強化と共に安定した協会運営にする為、以下の事項を念頭におき事業活動を推進する。

- I. 協会の経営基盤を強化すると共に安定した運営体制を確立する。
- II. 優良生薬の確保とその振興を図り、生薬業界の発展向上と数千年に亘る生薬の確固たる基盤を保持し、社会に貢献するような各種事業に取り組む。

1. 生薬、薬用植物等の普及啓発に関わる活動
(薬草観察会・薬草収穫感謝の会・生薬に関する懇談会・生薬に関する講座等の活動、
会報の発行、東京都薬用植物園管理運営事業活動等)
2. 生薬、薬用植物等の栽培・育成等に関わる活動
(薬用植物栽培指導員の育成等)
3. 生薬資源等の基原・品質・薬理等の調査研究に関わる活動
(日本薬局方原案審議委員会への参加、薬用植物の国内栽培事業活動等)
4. 生薬、薬用植物等に携わる人材の育成に関わる活動
(薬用植物指導員の育成等)
5. その他、本会の目的達成に必要と認める活動

I 事業の概要

■ 1号事業 生薬、薬用植物等の普及啓発に関わる活動（その1）

生薬、薬用植物に関する知識や情報の啓発により、国民の健康増進に寄与する事業を実施する。

1) 薬草観察会の開催 （学術委員会）

自然の中で薬用植物や生薬に親しむことにより、会員および国民に対する薬用植物や生薬を啓発する活動として実施する。

① 春の薬草観察会

- ・開催日時：平成31年4月21日（日）10:00～15:00
- ・場 所：青梅丘陵
- ・講 師：和田 浩志先生他4名
- ・参加者：80名

② 秋の薬草観察会

- ・開催日時：平成31年 月 日（日）10:00～15:00
- ・場 所：未定
- ・講 師：和田 浩志先生他4名
- ・参加者：80名

2) 薬草収穫感謝の会 （総務委員会）

生薬や薬用植物の一年の収穫を感謝し、講演会、植物見学会を実施すると共に会員及び国民の相互親睦の場として東京都薬用植物園で開催する。

- ・共 催：東京都、(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、(公社)東京都薬剤師会、
本町生薬会
- ・開催日：平成31年11月9日（土）10:00～15:00

3) 生薬に関する懇談会の開催 （学術委員会）

市場に流通する主要生薬について、基原植物、栽培、流通、品質、薬理、臨床などの多面的な視点から研究報告や意見交換を行う場として、産学協同で開催する。

- ・共 催：(一社)日本生薬学会関東支部、(公社)東京生薬協会
- ・開催日：平成31年12月 日（ ）12:30～18:00
- ・会 場：北里大学薬学部
- ・テーマ：未定
- ・参加人数：300名（予定）
- ・参加費：懇談会：3,000円、懇親会：2,000円

4) 薬用植物・生薬に関する講座 （学術委員会）

会員及び国民に対し、生薬や薬用植物に対する正しい知識や情報を普及啓発することにより、その有用性や使い方を正しく理解頂いて、生薬、薬用植物の一層の普及と国民の公衆衛生に貢献する為で開催する。

- ・開催日：平成31年8月～平成31年12月の日曜日
(5回シリーズ)
第1回 8月18日(日)
第2回 9月29日(日)
第3回 10月27日(日)
第4回 11月24日(日)
第5回 12月15日(日)
- ・開催時間：各回とも
第1時限：12:30～14:00
第2時限：14:15～15:45
- ・講師：学術委員及び外部講師(医師等)10名
- ・募集人数：各回 60名
- ・参加費：2,500円/回/人

5) OTC医薬品とセルフメディケーションの啓発活動 (事務局)

- ・共催：6団体(東京生薬協会、東京薬事協会、日本家庭薬協会、日本OTC医薬品協会、東京都薬剤師会、東京都医薬品登録販売者協会)
- ・後援：東京都、厚生労働省、東京薬科大学、日本商工会議所
- ・協賛：くすりの適正使用協議会
- ・開催日：平成31年 月 日()～ 日()の2日間
- ・会場：未定
- ・出展社：30社程度

6) 会報の発行 (広報委員会)

- ・生薬や薬用植物に関する最新情報や薬用植物園に関する情報を提供し、協会の活動状況をお知らせするために年2回発行し、会員及び関係団体等へ配布する。
- ・発行予定日：467号(平成31年7月)、468号(平成32年1月)
- ・発行部数：400部

7) 協会ホームページの更新 (広報委員会)

- ・リニューアルしたホームページでの「お花の見頃情報」や「最新イベント情報」などを随時更新する。
- ・協会に関する基本情報についても更新する。
- ・既収載の「新常用和漢薬集」の内容を見直し、第17局日本薬局方に準じた内容にする。

8) ふれあいガーデン事業 (事業管理委員会)

ふれあいガーデン利活用事業体の一員として、草屋舎を始めとする事業体運営をより積極的に展開する。

①ふれあいガーデン実施イベント

- ・実施内容：別紙「イベント一覧」参照

②運営協議会への参加

9) 新常用和漢薬集の改訂

(学術委員会)

- ・第 17 薬局方改正の内容に合わせて改訂し、ホームページ既収載の和漢薬 128 品目について公開中。
- ・旧版収載の和漢薬(236 品目)について順次その内容を見直し、ホームページに掲載していく。

1 号事業 生薬、薬用植物等の普及啓発に関わる活動(その2)

【東京都薬用植物園受託事業】

(事業管理委員会)

東京都薬用植物園の受託管理事業の充実と共に、栽培技術の向上と伝承を図り、薬用植物や生薬に対する知識・情報を国民に対し正しく普及啓発する活動を積極的に実施する。

1) 東京都薬用植物園の事業管理

①東京都薬用植物園の総合案内

- ・窓口対応：園内開放時間帯における来園者対応(薬用植物案内を含む)
- ・電話対応：開園時間帯における電話等の照会対応

②東京都薬用植物園の施設管理

- ・保守点検：冷暖房、防火設備、ボイラー、電気設備、給水タンク、温室等
- ・環境管理：沿道植栽樹木、病虫害駆除、通路の草刈等
- ・園内清掃：薬事資料館、研修室、標本室、トイレ、廃棄物の処理等
- ・園内警備：薬事資料館、研修室、収納舎、ケシ・大麻栽培区等
- ・土日及び祝日対応：都職員が常駐しない時の施設管理

2) 薬用植物や生薬の普及啓発事業

①薬草教室の開催

- ・仕様書に基づき年 8 回開催する。
- ・会場：東京都薬用植物園・研修室
- ・開催時間：毎回 10:00~11:30
- ・募集人数：先着 100 名
- ・開催内容：平成 31 年 4 月~11 月(詳細別紙「イベント一覧」参照)

②薬草観察会の開催

- ・仕様書に基づき春と秋に開催する。
- ・会場：(春)青梅丘陵 (秋)未定
- ・開催日：平成 31 年 4 月 21 日(日)、10 月 日(日)
- ・開催時間：10:00~15:00
- ・募集人数：各回先着 80 名
- ・講師：和田 浩志先生他 4 名

③イベント事業

- ・仕様書に基づき、年 18 回実施する。
- ・実施内容：別紙「イベント一覧」参照

④団体見学者に対する園内案内

概ね 20 名以上の団体見学者に対する園内案内、ビデオ映写等

3) 研修業務

- ①薬事監視員、警察、税関職員等に対する教育研修補助
- ②ケシ講座の開催補助（医学・薬学・看護学生）
- ③学生等研修の開催
- ④その他、都と協議の上で開催する研修の補助

4) 薬用植物、生薬の栽培業務

- ①ケシ、大麻以外の薬用植物等の栽培

5) 薬用植物、生薬の収集・保存・展示業務

- ①さく葉作成：種の同定、さく葉の作成、リスト作成などの補助
- ②生薬標本：標本の作成、リスト作成の補助
- ③展示：資料館に標本類を展示する。

6) 調査研究補助業務

- ①ケシ、大麻の栽培・研究補助
- ②実験植物に対する栽培・研究補助

7) 鑑定、鑑別補助業務

- ①植物鑑定・鑑別試験に必要な文献調査、資料提供及び鑑別用標本の購入保管

■ 2号事業 生薬、薬用植物等の栽培、育成等に関わる活動

- 1) 薬用植物栽培会議の実施（キキョウ情報交換会議） (薬用植物国内栽培事業委員会)
- 2) 薬用植物栽培連携協定自治体との合同会議の実施 (薬用植物国内栽培事業委員会)

■ 3号事業 生薬資源等の基原・品質・薬理等の調査研究に関わる活動

- 1) 日本薬局方原案審議委員会への参加 (学術委員会)
協会として生薬等 A 委員会および生薬等 B 委員会に委員を派遣する。(11 回/年)
- 2) 生薬栽培地視察と情報収集活動の実施 (薬用植物国内栽培事業委員会)
秋田県八峰町、秋田県美郷町、新潟県新発田市、新潟県新潟市、
福井県高浜町、岐阜県岐阜市、大分県杵築市
- 3) 薬用動植物国内栽培の実施 (薬用植物国内栽培事業委員会)
秋田県八峰町、秋田県美郷町、新潟県新発田市、新潟県新潟市、
福井県高浜町、岐阜県岐阜市、大分県杵築市
- 4) 生薬の品質評価法技術開発への参加 (事務局)
国立研究開発法人科学技術振興機構センター・オブ・イノベーション (COI) プログラムに参画するとともにこの中で、NMR を用いた新しい生薬の品質評価法開発に参加する。様々な条件下で栽培された生薬サンプルを提供し、新しい生薬品質評価技術の開発研究に協力する。

■ 4号事業 生薬、薬用植物等に携わる人材の育成に関わる活動

1) 薬用植物指導員認定者のフォローアップ研修 (学術委員会)

既認定指導員を対象に、より実践的に薬用植物に関する説明や案内ができるようにし、さらに協会活動により積極的に協力頂くようフォローアップ研修を実施する。

- ・研修内容：①東京都薬用植物園内のケシ等の見学・研修
②城西大学薬用植物園の見学
- ・募集人数：対象 46 名のうちの希望者 20 名程度を予定
- ・開催時期：2 回実施
 - ① 平成 31 年 5 月 9 日 (木) 14 : 00 ~ 15 : 30
 - ② 平成 31 年 月 日 ()

■ 5号事業 その他、本会の目的達成に必要と認める活動

■ 共益事業

主に会員向けに行われる事業で、会員の親睦や情報交換等を図る目的の事業

1) 賀詞交歓会の開催 (事務局)

- ・開催日時：平成 32 年 1 月 27 日 (月) 16 : 00 ~ 18 : 00
- ・会場：神田明神ホール

2) 薬用植物生け花展・標本展の実施 (総務委員会)

「薬と健康の週間」(厚労省・東京都) 行事の一環として、主催の薬祖神奉賛会に協力して実施する。

- ・実施日時：平成 31 年 10 月 17 日 (木) 13 : 45 ~ 18 : 30
- ・会場：昭和薬貿ビル 2F 直会会場
- ・内容：秋の七草(ふれあいガーデン草屋舎と共催)
- ・出展会社：2~3 社(5~6 名)

3) 現代化中医薬国際協会(MCMIA)等との交流 (事務局)

- ・MCMIA 香港との交流を通じて、日中における生薬や生薬製剤に関する意見交換や人的交流を深める。
- ・また、協会として年 1 回の「国際現代化中医薬及び健康産品展覧会」に参加する。

Ⅱ 協会管理・運営事項

1. 総会・理事会の開催

1) 総会の開催

総会は年 2 回開催する（日程は添付資料参照）

2) 理事会の開催

理事会を年 2 回開催する（日程は添付資料参照）

2. 会計・業務監査

会計・業務監査を年 1 回実施する（日程は添付資料参照）

3. 委員会の開催

下記委員会を必要に応じて開催する（日程は添付資料参照）

1) 総務委員会

- ・ 規程集改定WG
- ・ 薬草収穫感謝の会 WG

2) 学術委員会

- ・ 新常用和漢薬集改訂 WG

3) 広報委員会

4) 事業管理委員会

5) 薬用植物国内栽培事業委員会